

10年たったら取り替える!

ご家庭の住宅用火災警報器(住警器)はそろそろ交換時期ではありませんか?平成23年6月から、既存・新築を問わず全ての住宅に住警器の設置が義務化されています。

住警器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがありとても危険です。設置から10年を目安に交換しましょう!

点検・確認方法

1. 住警器のボタンを押す、またはひもを引いて音を確認する!

正常な場合は、正常をお知らせする「メッセージ」または「警報音」が鳴ります。音が鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているか確認し、それでも鳴らない場合は「電池切れ」か「故障」が原因です。なお機器によっては、電池切れをお知らせする警報音が鳴るものもあります。

2. 住警器の「設置年月」や「製造年月」を確認する!

住警器の寿命は約10年。火災を感知できなくなる前に新しいものに交換しましょう。

《新しい住警器に交換したら》

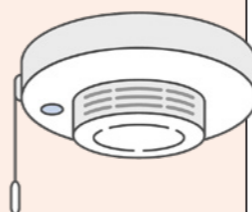
- ①本体の側面などに油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。
- ②古い住警器の本体は使用済み小型家電として廃棄を、電池は各公共施設で回収してもらいましょう。
 - ▶使用済み小型家電の受付窓口: 役場建設課環境衛生担当、トマム支所
 - ▶電池の回収ボックス設置場所: 占冠村総合センター、占冠地域交流館、双珠別住民センター、トマムコミュニティセンター(トマム支所窓口で回収)

救急出場状況

(6月分)

交通事故	3件(3人)
一般負傷	2件(2人)
急病	9件(7人)

6月計	14件(12人)
累計	117件(101人)
※()内は搬送人員	



◎富良野広域連合火災予防条例では、寝室・階段(2階に寝室がある場合)が設置該当箇所とされています。

野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56-2174

エゾシカ

6月のシカ駆除は59頭と、この時期としては過去最高水準でした。7月は未集計ながら、おおむね苦戦と見受けられます。

ヒグマ

6月29日に上トマムで親子グマ(当歳子1頭連れ)による住宅地への接近がありました。山への追い上げを実施しましたが、逃げ方が緩慢で発砲可能域まで接触を維持していたため、捕獲に切り替えました。ただしこれは失敗し、親グマは手傷を負って山中深く逃走してしまい、翌日にも渡る追跡でも追い切れず生死消息不明に。置き去りにになっていた子グマだけを捕獲する結果となりました。以後、この親グマと思しき個体の出現は確認されていません。仮に生存したとして、人への強力な忌避があらうと推察されます。上トマムではこれとは別に墓地周辺で親子

(1歳子1頭連れ)の活動が続いており、注意を要します。また付近では大型のオス成獣が活動していることも痕跡から分かっており、親子の行動に影響をもたらすものか注目されます。

村内ではこのほか、村道双珠別線沿線で複数個体による採草地利用が盛んになっており、一部では住宅や畜舎近くでの頻繁な出現を懸念して捕獲の機会をうかがっています。

これら2地域の他では集中的な活動情報が見いだされておらず、村全体の情報件数を見ても、近年過去値と比較して低い水準にあり、今年ここまでは概して静かであったと言えます。例年の傾向では、8月は目撃通報をはじめとする活動情報が減る一方、デントコーンの食害が始まります。引き続き気を締めて対応していきましょう。



採草地に現れたヒグマ(双珠別 7月17日)



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
~トマム学校~

教育委員会学校教育担当 56-2182

占冠村立トマム学校 令和6年度の重点目標

『やる気(実践) 和気(協働) 元気(挑戦)』

- やる気、実践(はきはき) ~主体的に行動する(主体的な学び)
- 和気、協働(いきいき) ~自分も友達も大切に、協力して取り組む(対話的な学び)
- 元気、挑戦(きびきび) ~目標(理想)をもち、それに向かって新たに挑戦する(深い学び)

今年度のトマム学校は、「自ら学び心豊かにたくましく」の教育目標の下、やる気(実践)、和気(協働)、元気(挑戦)の3つを重点目標にし、地域の皆さまのご協力をいただきながら取り組みを進めているところです。

「トマム学校・トマム保育所合同運動会」は、今年も1日延期となり、5月26日(日)に開催しました。園児、児童生徒、保護者、地域の皆さまに参加いただきながら、14種目を行うことができました。保護者の皆さまからは、事後のアンケートで「子どもたちは自分の目標をもち、目標に向けて努力していた」、「種目は子どもの実態や成長に適した内容であった」などの評価をいただきました。参観日の懇談では、子どもと大人が一緒に楽しめる種目を増やしてほしいと要望があり、次年度さらに改善を図っていこうと考えています。



少し暖かくなった7月2日(火)に、アウトドア会社「モカムカ」の橋本陽さんと役場林業振興室の浦田剛さんを講師に、「自然体感占冠」(鶴川での川探検)を行いました。今年は教育委員会をお願いをしてバスを配車いただき、トマム地区ではなく「モカムカ」付近の占川橋付近の川原で7人の保護者にも参加いただいて実施しました。草陰に置いた熊の着ぐるみが少し離れただけでほとんど見えなくなることを教えていただいたり、集団での川の歩き方や川の生き物などを学んだりしました。

7月に入り、ミナ・トマムでは、藤田まき先生と小林睦子さんらの指導の下、5年生と7年生が陶芸を制作中です。作品の完成が楽しみです。地域の皆さまのたくさんのお力添えに心から感謝申し上げます。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56-2110

暴力団排除活動の推進 ~暴力団 地域団結 断固拒否~

暴力団は、組織の維持・拡大のために、覚醒剤密売や特殊詐欺、密漁、みかじめ料・用心棒料の要求等の犯罪行為を行うだけでなく、組織の関係者を利用して一般社会における経済取引へ介入するなど、さまざまな手段を用いて活動資金獲得を図っています。また暴力団の活性化はさまざまな犯罪を誘発するだけでなく、暴力団の引き起こす対立抗争を激化、長期化させる原因ともなり、道民の皆さまの安全で平穏な日常生活と健全な経済活動に大きな脅威と不安を与えます。

警察は、暴力団の壊滅に向けて強力な取り締まりを推進していることから、道民の皆さまも「暴力団を利用しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団と交際しない」を合言葉に、暴力団の違法・不当な活動や犯罪被害に関することは、どんなささいなことでも早期に警察に相談、通報する強い意志と勇気を持って、社会から暴力団を追放しましょう。

合言葉

暴力団を利用しない
暴力団を恐れない
暴力団に金を出さない
暴力団と交際しない

ご協力をお願いします!

